

果樹病虫害発生予察調査結果（7／23調査分）
（三条、加茂、田上地域）

7月23日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ナシヒメシンクイの第3世代幼虫の防除時期は7月下旬から8月上旬ですので、JAの防除暦や情報を参考に防除を実施し、被害部位は除去しましょう。
- ハダニ類の発生が確認されています。園地状況を観察した上で発生初期に防除を実施しましょう。
- モモを中心に、収穫期を迎えている品種もあります。隣接園地の防除時はドリフトに十分注意しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに100新梢、100果を調査しました。

- セイヨウナシ褐色斑点病は新梢葉での発病が増加しています。り病部位は摘み取って園外で処分し、感染拡大を防止しましょう。
- 一部で、アブラムシ類・ニセナシサビダニの寄生葉が確認されています。発生が多い場合は、寄生・被害部位の除去や薬剤散布を実施しましょう。

（モモ）

調査地点ごとに100新梢、100果を調査しました。

- せん孔細菌病は新梢葉の発病が増加傾向です。また、一部園地で果実発病も確認されています。引き続き、り病部位の除去や防風網の点検を実施しましょう。
- 今回の調査で灰星病り病果は確認されませんでしたが、JAの「令和8年度桃収穫・管理日程表」を参考に収穫前防除を実施し、収穫間際の被害を防ぎましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 今回調査では病虫害の発生は確認されなかったものの、べと病・褐斑病・灰色かび病等が発生しやすい時期であることから、通風の改善や適期防除に留意しましょう。

※今後も暑い日が続くので作業中の熱中症にも注意し、十分な水分補給等を行ってください。

次回調査は8月10日(月)を予定しています。

担当　：中越支所　果樹共済係 TEL：0258-36-8105 FAX：0258-34-8020
--